

奈良 いのちの電話

2017
春
第368号

社会福祉法人 奈良いのちの電話協会

事務局/〒631-0816 奈良市西大寺本町8-27



TEL : 0742-35-0500

FAX : 0742-35-0533

e-mail : nid@nara-inochi.jp

特集

DVについて考える

—いのちの電話にできること—



画・畔上八寿男

春鹿の眉ある如く人を見し

原
石鼎

奈良の春

風鐸



暖かな春風と共に桜前線が日本列島を北上し、心が浮き立つこの頃です。「古の奈良の都の八重桜 今日九重に匂いぬるかな」と、奈良にも吉野の千

本桜をはじめ桜の名所があちこちにあります。その一つ、奈良公園も海外からの観光客を含め、多くの人たちで賑わっています。

でもお花見に誘っても、「年のせいか身体にガタがきて、何をするのもおっくう。そろそろ人生の終わりに近づいたよ

うで、花見に行く気にならない」と、寂しそうに大きなため息をつく人も。それに触発されて、つらつら考えてみました。

人間に限らず、動物も植物も命あるものは成長し、盛りを迎え、そして老化し、枯れて土に帰ります。時間の長短はあれ、この自然の摂理から逃れることはできません。とはいえ、自分の老化の事実はなかなか受け入れられませんね。

ところで、日本の古典芸能である「能」を大成した世阿弥は、「老いの木の花」が一番美しいと讃えています。たしかに桜も10年や20年の若木に比べて、年輪を重ね、幹に亀裂が入り、苔むした老木が咲かせる花は風格があって見事です。

私たち人間も重ねた年齢にふさわしい

振る舞いができるとういんですね。これまでの人生での楽しみや苦しみの経験からにじみでたやさしさや思いやりやユーモアが伝われば、周囲の人たちはどれほど心が和むことでしょうか。

ご高齢の方でも、おしゃれを楽しみ、上品な色気や艶を保っておられる方も見かけます。引っ込み思案の人も、それまで参加を渋っていた同窓会に顔を出したり、ちょっと勇気を奮って新しい人間関係の輪に入ったり、今まで敬遠していた趣味や軽い運動に挑戦したり、ボランティア活動に参加すれば、ひよっとすると、魅力あふれる老いの花が咲くことでしょうか。いやまあ、私もそんなふうにあかせたいと、思うこのごろ。(彦)



DVについて考える

— いのちの電話にできること —

「家族っていったいなんですか」いのちの電話には、家族すら信じられなくなった人からの電話が寄せられることがある。その背景には、夫からの暴力や暴言、いわゆるドメスティック・バイオレンス（DV）も一因であることがある。「自分さえ我まんすれば…と30年間我慢してきた」「子どものためにひたすら耐えた」など、自分を抑えつけることで心身が不調になった人もいる。本来対等で支え合うのが家族の姿であるはずなのに、一方的な力関係（支配と服従）が出来てしまうのは何故なのか。

さまざまな家族の問題の中から、今回DVについて取り上げてみた。

DV（ドメスティックバイオレンス）とは

- ① 夫婦や恋人関係を利用してパートナーを自分の思いどおりに操作するための手段として、また思いどおりにならなかったときの制裁として暴力^{*}を行使する。
 - ・私的な領域の中で継続的に行われる。
 - ・暴力を振るう側と振るわれる側が固定している。
- ② 社会が持っている構造（社会的・文化的背景）が生み出したもの。
- ③ 愛情という名のもとに正当化されやすい。

※暴力の種類

- 1 身体的暴力…殴る、蹴る、髪の毛を引っばる
 - 2 精神的暴力…無視する、馬鹿にする、ののしる
 - 3 経済的暴力…生活費を渡さない、「誰に食わせてもらってるんだ」などと言う
 - 4 社会的暴力…外出や実家、友人との交際を制限する
 - 5 性的暴力…セックスを強要する
 - 6 子どもを利用した暴力…「別れるなら子どもは渡さない」
 - 7 その他の暴力…威嚇、おどし、重要なことは勝手に決め、家事育児は女の仕事と決めつける
- (以上 なら犯罪被害者支援センター資料より)

DVの実態

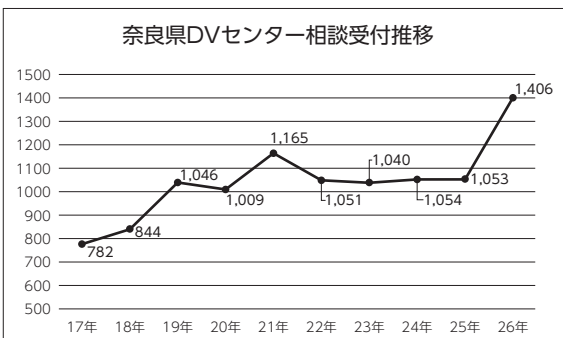
奈良県 DV センターの資料によると、過去（平成17年～26年）センターに寄せられた DV の相談は、奈良県、全国ともに約2倍になっている。DV に対する認識が定着してきたために表面化しやすくなったという側面はあるが、明らかに数は増えている。（図1、2）

また、警察庁によると、昨年1年間に全国の警察が摘発した暴行事件のうち親族間の暴行事件は前年比9.4%増で全体の24.3%を占めた。10年間で約3.8倍に増えている。加害者の内訳で最も多いのが、内縁関係を含む配偶者で、親族間暴力事件の65.6%を占めている。親族間暴力事件の3分の2はDVなのである。警察沙汰になっていないものも当然あるので、実のところDVの奥深さは計り知れない。

被害者支援の方法 —いのちの電話にできること—

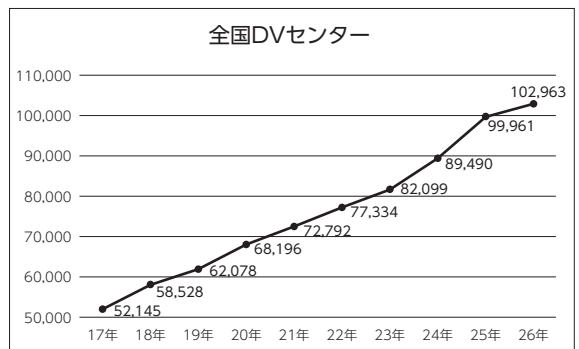
DVは夫婦間または恋人など、親密な関係にある者同士の間でおこるため、当事者自身に知識と自覚がなければ発見されにくい性質を持っている。身に危険を感じた女性たちが助けを求めてシェルターに駆け込むまで、周囲には気づかれない場合もある。心身ともに限界を感じる前の段階で第三者に

(図1)



※奈良県 DV センター
 ・奈良県中央子ども家庭相談センター
 ・奈良県高田子ども家庭相談センター
 ・奈良県女性センター

(図2)



よる発見や阻止が行われる素地を作っていかなければならない。電話や相談を受けた時に、相談を受ける人がDVの認識をしっかり持って被害者の苦しみや辛さを思いやりをもって受け止め、情報を伝えること、そしてDVの専門相談機関に繋ぐことが大切である。被害者を責めるような質問（☆）をすると、被害者をさらに傷つけることになるので聴き方にも注意が必要である。H13年には「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」が制定され、被害者の支援に取り組んでいる。

☆被害者を責めるような質問

- ・なぜいつまでもそんな人と一緒に暮らしているの。
- ・あなたが何をしたら、暴力を振るわれたのですか。
- ・一から出直すつもりで、別れるべきです。
- ・いつまでこんな状況に我慢しているつもりですか。
- ・自分がDVを受けているということを知っていますか。
- ・私なら、そんな関係は早くにやめてしまうわ。
- ・あなたが今のままできようとするなら、これ以上私にできることはありません。

(以上日本DV防止センターHPより)

支援をする場合に大切なのは、被害者の揺れる心に寄り添い、心身を守るということである。シェルターは身体的暴力を受けた場合だけでなく、精神的にダメージを受けた場合も保護してくれるし、シェルターがいっぱいの時には、民間に委託するなどの措置もとってくれる。被害者の心のケアをしながら今後の生き方について相談にのってくれる。が、シェルターはあくまで一時保護なので、最終的には被害者自身が自分で決めていかなければならない。

支援の基本は被害者の自己決定を尊重することである。(M)

全国 DV 相談窓口

- DV 相談ナビ (最寄りの DV 相談センターに繋がります)
0570-0-55210

奈良県内の DV 相談窓口

- 県中央こども家庭相談センター (配偶者暴力相談支援センター)
祝日・年末年始を除く月～金の9時～20時
0742-22-4083
- 県高田こども家庭相談センター
祝日・年末年始を除く月～金の9時～16時30分
0745-22-6079
- 県女性センター (女性相談コーナー)
火～金 9時30分～18時、土 9時30分～20時、
日・祝 9時30分～17時
0742-22-1240
- 奈良市 DV 相談ダイヤル
火・木・土 10時～12時、13時～16時
0742-93-3150
- なら犯罪被害者支援センター
月～金 10時～16時
0742-24-0783
- 緊急時は110番へ

情報化社会のなかで考える

出会い ⑧

—— 目に見えないものとの出会い ——

日本ゲシュタルト療法学会 スーパーバイザー
NPO 日本交流分析協会 分析士 准教授

平松 みどり

「出会い」というテーマをいただき「出会い」について振り返っています。人との出会いは勿論のこと、自然現象、書物、場所、食べ物、動植物など、色々な対象との出会いが思い出されます。「出会い」の意味には出て行って会う、思いがけなく会う、巡り合う、逢う、遭遇、など色々な意味で使っています。それらの出会いには目で確かめられる対象と目には見えないものがあります。

最近、思うことが多いのは視覚・聴覚・味覚・触覚などで確かめられないものとの出会いです。

電話の受話器から聞こえてくる声との出会いは、相手の姿は目には見えない声との出会いです。ところが、その声に耳を傾けていると、不思議に声の調子から、目に見えない相手の表情や感情が想像できるように感じるのです。

パソコンや携帯電話を何気なく使っていますが、目に見えない電力が消耗してくると充電をしなければ、その器具は要を果たしません。充電を必要とした時、目には見えない電気の「ありがたさ」に出会います。朝日が昇る、夕日が沈む、星が落ちてこないという自然の法則は眼には見えませんが、その法則に今更、感動と感謝が湧くのです。

又、目には見えない、形も大きさも掴めない自分の心や性格に関心を向ける時、今、この世に存在出来ている自分を大切にしたい思いと出会います。同時に、ヤスパースの言う「一人では私は何者でもない」考えにも出会うのです。他者に移して貰わない限り気づきは得られない、人との「出会い」は生涯大切だと今更深く感じています。見えるものに心を向けること、と同じように見えないものに関心をもち「出会う」ことは、自分を、相手を、資源を、そして、大きく言えば地球を大事にすることにつながると思う「出会い」への信条を書かせていただきました。

終わりまで読んでいただいた『紙面で出会えたあなたに感謝』し「ありがとう」を心からお伝えます。あなたの一日一日が充実できる日でありますようにご健康とご多幸を祈念いたします。祈りも眼には見えませんが大切な幸せのエネルギーです。改めて感謝をいたします。